

地域概要（特徴・課題）

- ・大子町は、総面積の約8割を森林が占める自然豊かな地域であり、日本三名瀑「袋田の滝」や紅葉の名所、オートキャンプ場、温泉などの観光資源を有する。
- ・平成28年には、「森林セラピー基地」の認定を受け、森林セラピー協議会や森林セラピーのプログラムを提供するトレーナーの会を設立。
- ・訪問時期・地域の一極集中、滞在時間の短さ等が課題であり、森林セラピーを活用することで、これらの課題を解決していくことを期待。

農泊事業の主な活用内容

ソフト対策(農泊推進事業)

① 企業向け滞在プログラムの開発

都市部企業や事業者を集めたワークショップの開催やモニターツアーの開催により、森林セラピー等の体験メニュー、宿泊メニュー、飲食メニュー等を検討し、企業向けの滞在プログラムを開発。

② 森林セラピーに関する人材育成

森林セラピーの先進地域である長野県信濃町に大子町のトレーナーを派遣し、「森林メディカルトレーナー」に養成講座への参加や実施プログラムの体験等を実施。派遣後に、大子町の他のトレーナーにも伝達実習を実施して、信濃町で得た知見を普及することでトレーナー全体のレベルアップ、ヨガやアロマオイルのプログラムの充実を図った。

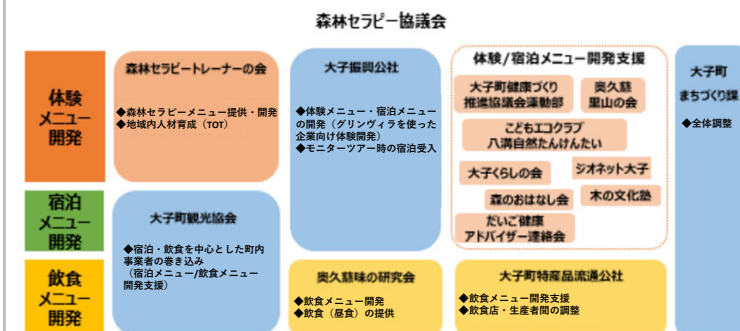
③ 都市部企業への営業活動

既存のHPの内容充実に取り組むとともに、都市部企業への営業活動を実施。

事業目的

- ・都市部の企業向けの滞在プログラムを磨き上げ、地域への訪問・宿泊・消費を促し、地域経済に貢献する。

事業実施体制



（参考）関連ウェブサイト

<https://daigo-foresttherapy.com/>

（参考）「農山漁村イノベーション推進・整備事業（農泊推進型）」以外の補助金等の活用

- ・地方創生推進交付金（内閣府）：セラピーロードの整備（H29年度）